

「原子・分子の自在配列と 特性・機能」領域 2期生 公開シンポジウム

参加費無料

日時 2024年3月18日(月) 9:00~11:40 (受付開始: 8:30)

会場 日本大学工学部 船橋キャンパス 14号館 1421教室
<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/funabashi/>

概要

さきがけ「自在配列」領域の公開シンポジウムを開催いたします。本さきがけ研究領域は、2020年10月に立ち上がり、原子や分子を自在に結合、配列、集合する手法を駆使して、新しい物質や構造体を生み出し、その構造がもたらす新しい特性や機能を引き出すことにより、革新的な物質科学のパラダイムを構築することを目指しています。今回のシンポジウムでは、2021年度採択課題を中心に、研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。ご期待ください。

定員 150名 (オンラインでの配信はございません)

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部
さきがけ「自在配列」領域担当
E-mail: presto_pma@jst.go.jp



お申し込みは
こちらから

※日本化学会春季年会に登録されていない方も
無料でご入場いただけます。
※定員に達しましたら締め切ります。

<https://form.jst.go.jp/s/pma-sympo20240318>

プログラム

9:00- 9:10

開会挨拶
西原 寛 研究総括（東理大総研）

第一部 座長：稲垣 伸二（豊田中研）

9:10- 9:27

芳香族の壁を持つ環状分子・ポーラスナノシートの創出
林 宏暢（NIMS）

9:27- 9:44

擬ラセミ体の有機分子を配列した機能性結晶の創製
伊藤 傑（横浜国大院工）

9:44-10:01

ナノ空間制御に基づく精密単原子層物質の創製
北尾 岳史（東大院工）

10:01-10:18

ラダー化によるラセンの自在構築と機能創出
井改 知幸（名大院工）

10:18-10:27

休憩

第二部 座長：西原 寛（東理大総研）

10:27-10:44

可逆的共有結合を用いたペプチド立体構造制御と機能創出
梅澤 直樹（名市大院薬）

10:44-11:01

配座制御されたアミノ酸ブロックを用いた有機ナノ構造体の設計と応用
森本 淳平（東大院工）

11:01-11:18

強相関ラジカル分子構造体のライングラフ物性
水津 理恵（名大院理）

11:18-11:35

熱的な結晶相変化を活用した遷移金属酸化物における電気抵抗スイッチング
河底 秀幸（東北大院理）

11:35-11:40

閉会挨拶
西原 寛 研究総括（東理大総研）



お申し込みは
こちらから

※日本化学会春季年会に登録されていない方も
無料でご入場いただけます。
※定員に達しましたら締め切ります。

<https://form.jst.go.jp/s/pma-sympo20240318>